

平成23年度 春夏作野菜花き関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成23年度春夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成22年12月14日(水)～15(木)に浅草ビューホテルにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者52名、委託関係者43名ほか、計117名の参集を得て、除草剤18薬剤(106点)、

生育調節剤5薬剤(22点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成23年度 春夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 野菜関係 除草剤

注) アンダーラインは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類・継 続の別	試験担当場所 (試験中など (数))	ねらい・試験設計等	判定	判定内容
1. AC-263 液 イマザモックスアンモニウム 塩:0.85% [BASFジャパン]	コマナギ	作用性 新規	独 北海道農研 J北海道 (2)	ねらい 定植活着後 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) 全般 多年生広葉 全般 その他 設計 薬量 <水量> /10a 土壌処理 定植後、雑草発生揃～2集期 150, 200, 250, 300mL <100L> 対) 慣行 定植後	—	(作用性)
2. AH-01 液 クマシネートPナトリウム 塩:11.5% [Meiji Seikaファル マ、北興化学工業]	ミョウガ	倍量薬 害 継続	植調研 (1)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) 全般 多年生広葉 全般 その他 設計 薬量 <水量> /10a 全面茎葉処理→畦間茎葉処理 萌芽前・雑草生育期→ミョウガ生育期・雑草生育期 500mL→500mL <100L> 1000mL→1000mL <100L>	実 (従来 どお り)	実) [春夏作; 一年生雑草] ・萌芽前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・300～500mL<100～150L>/10a [春夏作; 一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・畦間茎葉処理 ・300～500mL<100～150L>/10a 注) ・雑草の草丈 30cm 以下で散布する。 ・作物に飛散ないように散布する。
アスハ ^ラ ガス	適用性 継続	広島 香川	(2)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) 全般 多年生広葉 全般 その他 設計 薬量 <水量> /10a 全面雑草茎葉散布 萌芽前・雑草生育期(草丈30cm以下) 300mL <100L> 300mL <150L> 500mL <100L> 対) ガス液剤 300mL <100L>	実・継 (従来 どお り)	実) [春夏作; 一年生雑草] ・萌芽前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・300～500mL<100～150L>/10a 継) →300mL処理での年次変動の確認 ・収穫打ち切り後全面処理での効果、薬害 の確認
アスハ ^ラ ガス	適用性 新規	J北海道<収量> 山形園試<収量> 長野 野花試	(3)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) 全般 多年生広葉 全般 その他 スギナ 設計 薬量 <水量> /10a 全面茎葉散布 収穫打ち切り後・雑草生育期(草丈30cm以下) 500mL <100L> 500mL <150L> 1000mL <100L>		

A. 野菜関係 除草剤

注) アシゲイは新たに判定された部分を示す

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
2. AH-01 液 つづき	カブ	適用性 継続	山形 置賜 石川植防 植調研 長野 野花試 (4)	ねらい 生育期畦間処理 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 畦間雑草茎葉散布 薬量 アシゲイ 生育期・雑草生育期 <水量> 300mL <100L> /10a 300mL <150L> 500mL <100L> 対) バス液剤 300mL <100L>	実	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 ・ 畦間茎葉処理 ・ 300~500mL<100~150L>/10a 注) ・ 雑草の草丈 30cm 以下で散布する。 ・ 作物に飛散しないように散布する。
	ヤマ/イモ	倍量薬 害 新規	青森 野菜研 <収量> 鹿兒島 熊毛 (2)	ねらい 倍量薬害(萌芽前→畦間) 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 全面雑草茎葉散布+畦間雑草茎葉散布 萌芽前・雑草生育期→ヤマ/イモ生育期・雑草生育期 <水量> 500mL→500mL <100L> /10a 1000mL→1000mL <100L>	実 (従来 どお り)	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 植付後萌芽前 雑草生育期(草丈30cm以下) 全面茎葉処理 300~500mL<100~150L>/10a [春夏作; 一年生雑草] ・ 生育期 雑草生育期 畦間茎葉処理 300~500mL<100~150L>/10a 注) ・ 雑草の草丈 30cm 以下で散布する ・ 作物に飛散しないように散布する
	ジョウガ	適用性 継続	植調研 千葉大 環境 高知 J鹿兒島大隅 (4)	ねらい 萌芽前全面処理 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 スギナ 設計 全面雑草茎葉散布 薬量 萌芽前・雑草生育期(草丈30cm以下) <水量> 300mL <100L> /10a 300mL <150L> 500mL <100L>	実・継	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 植付後萌芽前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 300~500mL<100~150L>/10a 継) 効果・薬害の確認(萌芽前処理) ・ 畦間処理での効果、薬害の確認
3. AG-01 液 グリホサートイソP ロビ'ルアミン 塩:41% [TAC普及会]	ジョウガ	適用性 新規	植調研 千葉大 環境 J鹿兒島大隅 (3)	ねらい 生育期畦間処理 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 畦間雑草茎葉散布 薬量 ジョウガ 生育期・雑草生育期 <水量> 300mL <100L> /10a 300mL <150L> 500mL <100L> 対) バス液剤 300mL <100L>	実 (従来 どお り)	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 耕起7日以前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 250~500mL<100L>/10a 注) ・ 砂壌土では薬害を生じる場合がある 継) 薬害の発生要因について
	アサ/ソウ	適用性 継続	栃木<収量> 福岡 (2)	ねらい 耕起7日前/砂質土壌 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 雑草茎葉処理 耕起7日前・雑草生育期(草丈30cm以下) <水量> 250mL <100L> /10a 500mL <100L>	実 (従来 どお り)	実) [春夏作; 一年生雑草] ・ 耕起7日以前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・ 全面茎葉処理 ・ 250~500mL<100L>/10a 注) ・ 砂壌土では薬害を生じる場合がある 継) 薬害の発生要因について

A. 野菜関係 除草剤

注) アンダーラインは新たに判定された部分を示す

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
4. AKD-7164 水和 剤 50% [アグロネコ]	アサガオ	適用性 新規	北海道花・野菜 J北海道 (2)	ねらい 定植活着後 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多生(科) - 多生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 全面土壌散布 定植活着後(雑草発生前) 50g <100L> 75g <100L> 100g <100L> 参) アグロネコ乳剤 定植後(雑草発生前) 300mL <100L>	実・継	実) [春夏作、露地; 一年生雑草] ・定植活着後 雑草発生前 ・全面土壌処理 ・100~200g<100L>/10a 継) ・低薬量での一年生広葉雑草に対する効 果、および薬害の確認
5. ALR-0831 乳 剤 24% [アリスファイン]	アサガオ	適用性 継続	北海道花・野菜 J北海道 (2)	ねらい イネ科雑草3~6葉期(北海道) 対象 雑草 一年生(科) 全般(スズメノカタビラを含む) 一年生広葉 - 多生(科) - 多生広葉 - 設計 薬量 <水量> /10a 全面土壌処理 生育期、雑草生育期(イネ科雑草3~6L) 50mL <100L> 75mL <100L> 対) アグロネコ乳剤 150mL <100L>	実	実) [春夏作、露地; 一年生イネ科雑草] ・生育期 雑草生育期 (イネ科雑草3~6葉期) ・全面土壌処理 ・50~75mL<100L>/10a
	アサガオ	適用性 継続	植調研 J京都園芸	ねらい イネ科雑草3~6葉期(東北以南) 対象 雑草 一年生(科) 全般(スズメノカタビラを含む) 一年生広葉 - 多生(科) - 多生広葉 - 設計 薬量 <水量> /10a 全面土壌処理 生育期、雑草生育期(イネ科雑草3~6L) 50mL <100L> 75mL <100L> 対) アグロネコ乳剤 150mL <100L>		
6. CG-119a 乳 剤 83.7% [シンエンジャパン]	アサガオ	作用性 新規	北海道十勝 (1)	ねらい 植付後萌芽前(北海道) 対象 雑草 一年生(科) 全般(スズメノカタビラを含む) 一年生広葉 全般 多生(科) - 多生広葉 - 設計 薬量 <水量> /10a 全面土壌処理 植付後萌芽前(雑草発生前) 70, 100, 130mL <100L> 対) ロック水和 植付直後、雑草発生前 100g <100L>	継	継) ・効果、薬害の確認
	アサガオ	適用性 新規	植調研 福岡 八女 鹿児島 熊毛 (3)	ねらい 植付後萌芽前(東北以南) 対象 雑草 一年生(科) 全般(スズメノカタビラを含む) 一年生広葉 全般 多生(科) - 多生広葉 - 設計 薬量 <水量> /10a 全面土壌処理 植付後萌芽前(雑草発生前) 70, 100, 130mL <100L> 対) 一任		
	アサガオ	倍量薬 害 新規	福岡 八女 (1)	ねらい 植付後萌芽前 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多生(科) - 多生広葉 - 設計 薬量 <水量> /10a 全面土壌処理 植付後萌芽前 130mL <100L> 260mL(倍量) <100L>		

A. 野菜関係 除草剤

注) アングラーは新たに判定された部分を示す

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
7. HCW-201 アダブ® DCMU:50% [保土谷UPL, 北興化 学工業]	ヤマ/モ	適用性 継続	北海道十勝 青森 野菜研 ＜収量＞ 植調研 鹿児島 熊毛	(4) ねらい 生育期畦間処理 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 ＜水量＞ /10a 畦間茎葉兼土壌処理 ヤマ/モ生育期 雑草生育期 100mL <100L> 150mL <100L> 200mL <100L> 対) ドロックス水和剤 100g <100L>	実・継	実) [春夏作, 露地; 一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・畦間茎葉兼土壌処理 ・100～200mL<100L>/10a 注) ・雑草の草丈 15cm 以下で散布する ・作物に飛散しないように散布する 継) ・年次変動の確認
8. NC-360 アダブ® サリドニップイソP:7% [日産化学工業]	キヤベツ	適用性 継続	北海道上川 J北海道	(2) ねらい 雑科雑草3～6葉期(北海道) 対象 雑草 一年生(科) 全般(スズメノカタビラ除く) 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 ＜水量＞ /10a 全面茎葉処理 キヤベツ生育期, 雑科雑草生育期(3-6L) 200mL <25L> 200mL <50L> 200mL <100L> 対) ナブ 乳剤 雑科雑草3-5L 200mL <100L>	実 (従来 どお り)	実) [春夏作, 露地; 一年生雑科雑草(スズメ ノカタビラを除く)] ・生育期 雑草生育期 (雑科雑草3～6葉期) ・全面茎葉処理 ・200mL<25～100L>/10a (水量25～50Lは専用ノズルを使用する) 継) ・年次変動の確認
	ハクサイ	適用性 継続	北海道上川 J北海道	(2) ねらい 雑科雑草3～6葉期(北海道) 対象 雑草 一年生(科) 全般(スズメノカタビラ除く) 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 ＜水量＞ /10a 全面茎葉処理 ハクサイ生育期, 雑科雑草生育期(3-6L) 200mL <25L> 200mL <50L> 200mL <100L> 対) ナブ 乳剤 イネ科雑草3-5L 200mL <100L>	実・継 (従来 どお り)	実) [春夏作, 露地; 一年生雑科雑草(スズメ ノカタビラを除く)] ・生育期 雑草生育期 (雑科雑草3～6葉期) ・全面茎葉処理 ・200mL<25～100L>/10a (水量25～50Lは専用ノズルを使用する) 継) ・年次変動の確認
	タイン	適用性 継続	北海道十勝 J北海道 石川植防 栃木	(4) ねらい 雑科雑草3～6葉期 対象 雑草 一年生(科) 全般(スズメノカタビラ除く) 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 ＜水量＞ /10a 全面茎葉処理 タイン生育期, 雑科雑草生育期(3-6L) 200mL <25L> 200mL <100L> 300mL <25L> 300mL <100L> 対) ナブ 乳剤 イネ科雑草3-5L 200mL <100L>	実	実) [春夏作, 露地; 一年生雑科雑草(スズメ ノカタビラを除く)] ・生育期 雑草生育期 (雑科雑草3～6葉期) ・全面茎葉処理 ・200～300mL<25～100L>/10a (水量25～50Lは専用ノズルを使用する)
	タイン	適用性 継続	北海道十勝 J北海道 石川植防 栃木	(4) ねらい 雑科雑草6～8葉期 対象 雑草 一年生(科) 全般(スズメノカタビラ除く) 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 ＜水量＞ /10a 全面茎葉処理 タイン生育期, 雑科雑草生育期(6-8L) 200mL <25L> 200mL <100L> 300mL <25L> 参) ナブ 乳剤 イネ科雑草3-5L 200mL <100L>		

A. 野菜関係 除草剤

注) アダプティは新たに判定された部分を示す

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
9. NC-622 液 グ リホサートカリウム塩:48% [日産化学工業]	タマ科	適用性 継続	北海道北見 △中間 J北海道△中間 (2)	ねらい 収穫後全面茎葉処理 対象 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 スギナ 設計 薬量 全面茎葉処理 <水量> タマ科 収穫後、スギナ生育期(草丈30cm以下) /10a 1500mL <25L> 1500mL <100L> 2000mL <25L>	継	継) ・効果、葉害の確認
10. SL-122 顆粒水和 剤 リモロン-P-β ナ :7% リモロン:30% [石原産業]	ニンジン	適用性 新規	北海道花・野菜 J北海道 (2)	ねらい ニンジン出芽前期(子葉展開期/北海道) 対象 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 茎葉兼土壌処理 ニンジン出芽前期(子葉展開期) <水量> 200g <100L> /10a 250g <100L> 比) リモロン水和剤 ニンジン播種後出芽前 150g <100L>	実・継	実) [春夏作、露地;一年生雑草] ・生育期(1~2葉期) 雑草生育期(草丈20cm以下) ・全面茎葉兼土壌処理 ・200~250g<100L>/10a [春夏作、露地;一年生雑草] ・生育期(3~5葉期) 雑草生育期(草丈20cm以下) ・全面茎葉兼土壌処理 ・170~250g<100L>/10a
	ニンジン	適用性 新規	植調研 (1)	ねらい ニンジン出芽前期(子葉展開期/東北以南) 対象 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 茎葉兼土壌処理 ニンジン出芽前期(子葉展開期) <水量> 200g <100L> /10a 250g <100L> 参) SL-122顆粒水和剤 ニンジン3葉期、雑草生育期(草丈20cm以下) 250g <100L>	注)	注) ・ニンジン生育期の処理では褐変、葉枯れを生 じる場合がある 継) ・播種後出芽前処理での効果、葉害の確認 (東北以南) ・ニンジン出芽前期処理での効果の確認 ・ニンジン1~2葉期処理での年次変動の確認 ・生育期処理での年次変動の確認(北海道) ・生育期処理での葉害の確認 発生要因に ついて
	ニンジン	適用性 新規	北海道花・野菜 J北海道 (2)	ねらい ニンジン1~2葉期(北海道) 対象 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 茎葉兼土壌処理 <水量> ニンジン1~2葉期、雑草生育期(草丈20cm以下) /10a 200g <100L> 250g <100L> 比) リモロン水和剤 ニンジン播種後出芽前 150g <100L>		
	ニンジン	適用性 新規	植調研 (1)	ねらい ニンジン1~2葉期(東北以南) 対象 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - 設計 薬量 茎葉兼土壌処理 <水量> ニンジン1~2葉期、雑草生育期(草丈20cm以下) /10a 200, 250g <100L> 参) SL-122顆粒水和剤 ニンジン3葉期 250g <100L>		
	ニンジン	適用性 継続	北海道花・野菜 J北海道 (2)	ねらい ニンジン3~5葉期(北海道) 対象 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - 設計 薬量 茎葉兼土壌処理 <水量> ニンジン3~5葉期、雑草生育期(草丈20cm以下) /10a 200, 225, 250g <100L> 対) リモロン水和剤 ニンジン3~5葉期 150g <100L>		

A 野菜関係 除草剤

注) アングライは新たに判定された部分を示す

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・雑 の 別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
11. ZK-122 液 グリホサートカリウム塩 :44.7% [ソシエンダジヤン]	アスパラ ガス	適用性 継続	宮城園研 (1)	ねらい 春期収穫打切り後 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生(広葉) 全般 多年生(科) 全般 多年生(広葉) 全般 その他 スギナ 設計 全面茎葉処理 薬量 春期収穫打切り後、萌芽前、 <水量> 雑草生育期(草丈30cm以下) /10a 500mL <25L> 500mL <100L> 1000mL <25L>	実	実) [春夏作;一年生雑草,23才] ・春期収穫打切り後(萌芽前) 雑草生育期(草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・500~1000mL<25~100L>/10a (水量25~50Lは専用ノズルを使用する) 注) ・散布後萌芽する若茎に曲がりや先端枯死 などの被害を生じる場合がある 継) →効果に対する効果の確認
	キャリ	適用性 継続	石川植防 植調研 千葉大 環境 島根 鹿児島 (5)	ねらい 生育期畦間処理 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生(広葉) 全般 多年生(科) - 多年生(広葉) - その他 - 設計 畦間茎葉処理 キャリ生育期、雑草生育期 薬量 250mL <25L> <水量> 250mL <100L> /10a 500mL <25L> 対) ハンズ液 500mL <100L>	実	実) [春夏作;一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・畦間茎葉処理 ・250~500mL<25~100L>/10a (水量25~50Lは専用ノズルを使用する) 注) ・雑草の草丈 30cm 以下で散布する。 ・作物に飛散しないように散布する。 継) →効果、被害の確認
	キャリ	倍量薬 害 継続	石川植防 (1)	ねらい 生育期畦間処理(倍量薬害) 対象 雑草 一年生(科) - 一年生(広葉) - 多年生(科) - 多年生(広葉) - その他 - 設計 畦間茎葉処理 キャリ生育期 薬量 500mL <25L> <水量> 1000mL(倍量) <25L> /10a		
	トマト	適用性 継続	植調研 長野 野花試 愛知 J京都園芸 福岡 (5)	ねらい 生育期畦間処理 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生(広葉) 全般 多年生(科) - 多年生(広葉) - その他 - 設計 畦間茎葉処理 トマト生育期、雑草生育期 薬量 250mL <25L> <水量> 250mL <100L> /10a 500mL <25L> 対) ハンズ液 500mL <100L>	実	実) [春夏作;一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・畦間茎葉処理 ・250~500mL<25~100L>/10a (水量25~50Lは専用ノズルを使用する) 注) ・雑草の草丈 30cm 以下で散布する。 ・作物に飛散しないように散布する。 継) →効果、被害の確認
	トマト	倍量薬 害 継続	愛知 (1)	ねらい 生育期畦間処理(倍量薬害) 対象 雑草 一年生(科) - 一年生(広葉) - 多年生(科) - 多年生(広葉) - その他 - 設計 畦間茎葉処理 トマト生育期 薬量 500mL <25L> <水量> 1000mL(倍量) <25L> /10a		
12. アラロール 乳 アラロール:43% [日産化学工業、日本 農業]	アロロール	適用性 継続	北海道道南 J北海道 広島 福岡 J鹿児島大隅 <収量> (5)	ねらい 定植後、雑草発生前 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生(広葉) 全般 多年生(科) - 多年生(広葉) - その他 - 設計 全面土壌処理 定植後、雑草発生前 薬量 150mL <100L> <水量> 200mL <100L> /10a 対) アラロール水和剤 定植後、雑草発生前 200g <100L>	実・継	実) [春夏作、露地;一年生雑草] ・定植後 雑草発生前 ・全面土壌処理 ・150~200mL<100L>/10a 継) →効果、被害の確認 ・年次変動の確認

A. 野菜関係 除草剤

注) アンダーラインは新たに判定された部分を示す

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
13. プロビザミド 水和 プロビザミド:50% 【ダウケミカル日本】	トマト	適用性 新規	北海道北見 J北海道 (2)	ねらい 定植活着後、雑草発生前 対象 一年生(科) 全般(スズメノカタビラを含む) 雑草 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 全面土壌処理 定植活着後雑草発生前 薬量 200g <100L> <水量> 300g <100L> /10a 対) ジーゴール乳剤 定植活着後雑草発生前 400mL <100L>	実・継	実) [春夏作、露地移植; 一年生雑草(科) 科、ナツ グサ科を除く]) ・定植活着後 雑草発生前 ・全面土壌処理 ・300~400g<100L>/10a [春夏作、露地移植; 一年生(科) 雑草] ・定植活着後 雑草発生前 ・全面土壌処理 ・200~300g<100L>/10a 継) ・200~300g/10a処理での年次変動の確認
14. SSP-0692 油 (旧トラウカイト 油) メチルシロキシルネート :20.0% 【バ イオロギアサイエンス】	トマト	適用性 継続 (H22分 再試)	福岡 (1)	ねらい 播種前、土壌くん蒸処理 対象 一年生(科) 全般 雑草 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 土壌くん蒸処理 薬量 播種の30日前まで <水量> 30L (3ml/穴) /10a 40L (4ml/穴)	継	継) ・効果、薬害の確認

B. 平成22年度春夏作分 野菜関係 除草剤

注) アンダーラインは新たに判定された部分を示す

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
1. NC-622 液 グリネートカリウム塩:48% 【日産化学工業】	トマト	適用性 新規	北海道北見 J北海道 (2)	ねらい 収穫後・スギナ生育期、全面茎葉処理 対象 一年生(科) - 雑草 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 スギナ 設計 全面茎葉処理 薬量 たまねぎ収穫後、 <水量> スギナ生育期(草丈30cm以下) /10a 1500ml <25L> 1500ml <100L> 2000ml <25L>	一	(H23年度分参照)
	トマト	倍量薬害 新規	北海道北見 J北海道 (2)	ねらい 収穫後・スギナ生育期、全面茎葉処理 対象 一年生(科) - 雑草 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 土壌処理 薬量 たまねぎ収穫後、 <水量> スギナ生育期(草丈30cm以下) /10a 2000ml <25L> 4000ml <25L> (倍量区)		

C. 花き関係 除草剤

注) アンダーラインは新たに判定された部分を示す

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ＜＞は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
1. AKD-7175 粒 DBN:1.2% ジァン:3% [アグ・カネヨ]	ペニナメ モ	適用性 継続	東日本G研 千葉大 園芸 新中国G研 (3)	ねらい 樹冠下土壌処理 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 全般 その他 スギナ 設計 土壌処理 薬量 花木生育期、 ＜水量＞ 雑草発生初期(草丈20cm以下) /10a 20kg 30kg 40kg 対) 一任	実・継	実) [(ペニナメ)]: 一年生雑草、多年生広葉 雑草] ・生育期 雑草発生初期(草丈20cm以下) ・土壌処理 ・20～40kg/10a 注) ・植付後1年未満の樹には使用しない 継) ・スギナに対する効果の確認 ・連年使用した場合の葉害の確認
2. HG-1010 液 グ・リサートイグ・Dc・ルアミン 塩:41.0% [ハート]	カイグ・カイ ブキ	適用性 新規	三重 鈴鹿 福岡 果樹苗木 (2)	ねらい 樹冠下雑草茎葉処理 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) 全般 多年生広葉 全般 その他 設計 樹冠下雑草茎葉処理 薬量 花木生育期、雑草生育期(草丈30cm以下) ＜水量＞ 500mL <100L> /10a 750mL <100L> 1000mL <100L> 対) グ・リサートイグ・Dc・ルアミン塩41%液剤 500mL <100L>	継	継) ・効果、葉害の確認
	サウ	適用性 新規	千葉大 園芸 新中国G研 (2)	ねらい 樹冠下雑草茎葉処理 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) 全般 多年生広葉 全般 その他 設計 樹冠下雑草茎葉処理 薬量 花木生育期、雑草生育期(草丈30cm以下) ＜水量＞ 500mL <100L> /10a 750mL <100L> 1000mL <100L> 対) グ・リサートイグ・Dc・ルアミン塩41%液剤 500mL <100L>	継	継) ・効果、葉害の確認
	ザンカ	適用性 新規	千葉大 園芸 新中国G研 (2)	ねらい 樹冠下雑草茎葉処理 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) 全般 多年生広葉 全般 その他 設計 樹冠下雑草茎葉処理 薬量 花木生育期、雑草生育期(草丈30cm以下) ＜水量＞ 500mL <100L> /10a 750mL <100L> 1000mL <100L> 対) グ・リサートイグ・Dc・ルアミン塩41%液剤 500mL <100L>	継	継) ・効果、葉害の確認
	ワツジ・サ ツキ	適用性 新規	東日本G研 千葉大 園芸 三重 鈴鹿 鳥取 園試 福岡 果樹苗木 (5)	ねらい 樹冠下雑草茎葉処理 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) 全般 多年生広葉 全般 その他 設計 樹冠下雑草茎葉処理 薬量 花木生育期、雑草生育期(草丈30cm以下) ＜水量＞ 500mL <100L> /10a 750mL <100L> 1000mL <100L> 対) グ・リサートイグ・Dc・ルアミン塩41%液剤 500mL <100L>	継	継) ・効果、葉害の確認

C. 花き関係 除草剤

注) アンダーラインは新たに判定された部分を示す

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
2. HG-1010 液 つづき	ベニナミ イチ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研	(2) ねらい 対象 雑草 樹冠下雑草茎葉処理 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) 全般 多年生広葉 全般 その他 設計 薬量 <水量> /10a 樹冠下雑草茎葉処理 花木生育期、雑草生育期(草丈30cm以下) 500mL <100L> 750mL <100L> 1000mL <100L> 対) グリサートイワ' DL' 87ミシ塩41%液剤 500mL <100L>	継	継) ・効果、薬害の確認
3. NC-622 液 グリサートカリウム塩:48% [日産化学工業]	イチ	適用性 継続	栃木 香川 福岡	(3) ねらい 対象 雑草 生育期畦間処理 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉処理(生育期畦間処理) イチ生育期、雑草生育期 200mL <25L> 200mL <100L> 500mL <25L> 対) 慣行処理(一任)	実	実) [落夏作(イチ):一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・畦間茎葉処理 ・200~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用バスルを使用) 注) ・雑草の草丈30cm以下で散布する。 ・作物に飛散しないように散布する。
4. S-28 乳 ブタミ:50% [住友化学]	ワツシ・サ サキ	適用性 新規	山形園試 千葉大 園芸 三重 鈴鹿 鳥取 園試	(4) ねらい 対象 雑草 樹冠下土壌処理 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般(サキ科、ワツシ除く) 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 全面土壌処理 植付け後または生育期(雑草発生前) 200mL <100L> 200mL <150L> 400mL <100L>	継	継) ・効果、薬害の確認
5. SYJ-175 液 グリサートカリウム塩 :0.86% [シンジエンタジヤパン]	アベ'リ リ	適用性 継続	東日本G研	(1) ねらい 対象 雑草 樹冠下雑草茎葉処理 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) 全般 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 樹冠下茎葉処理 花木生育期、雑草生育期(草丈30cm以下) 25L <希釈せずそのまま散布> 50L <希釈せずそのまま散布> 対) ねつギ AL液剤 100L <希釈せずそのまま散布>	実 (従来 どお り)	実) [(花木):一年生雑草、多年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・雑草茎葉処理 ・25~50L/10a (希釈せずそのまま散布) 注) ・専用容器を使用する。 ・雑草の草丈30cm以下で散布する。 ・作物に飛散しないように散布する。 ・試験された花木; ワツシ・サキ、アベ'リ、ササ'カ、ハナミ'キ、ベニナミ イチ、サウ
	サウ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研	(2) ねらい 対象 雑草 樹冠下雑草茎葉処理 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) 全般 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 樹冠下茎葉処理 花木生育期、雑草生育期(草丈30cm以下) 25L <希釈せずそのまま散布> 50L <希釈せずそのまま散布> 対) ねつギ AL液剤 100L <希釈せずそのまま散布>	継	継) ・効果、薬害の確認 ・年次変動の確認(検討) ・多年生(科)雑草に対する効果について 年次変動の確認 (アベ'リ)

D. 野菜関係 生育調節剤

注) アナライズは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
1. AKD-8151 (L) 液 1-ナフタリン酢酸ナトリウム : 0.2% [アグロネーション]	トマト	適用性 継続	静岡 温室農協 (1)	ねらい 設計 果実肥大及びネット形成促進 株散布 縦ネット発生期～横ネット発生期 3000倍 <100～200mL/株> 4000倍 <100～200mL/株> 3000倍×2回 <100～200mL/株> 4000倍×2回 <100～200mL/株> ※) アグロネーション 液剤 株散布 縦ネット発生期～横ネット発生期 2000倍 (1～2回) <100～200mL/株>	実	実) [果実肥大及びネット形成促進] (従来 どおり) ・ 縦ネット発生期～横ネット発生期 ・ 1000～4000倍<100～200mL/株> ・ 2回以内 ・ 株散布
		新規 (H22 秋冬作 自主)	熊本 (1)	ねらい 設計 着果促進効果 花に散布および柱頭塗布 開花当日/1回 10倍 <十分量> 20倍 <十分量> 40倍 <十分量>	継	継) ・ 効果、葉害の確認
		適用性 新規	植調研 千葉大 環境 南九州大 (3)	ねらい 設計 着果促進効果 花に散布 開花当日/1回 10倍 <十分量> 20倍 <十分量> 40倍 <十分量>		
2. SYJ-243 フロアブル 既知化合物A: a%	トマト	作用性 新規	宮城園研 植調研 愛知 福岡 (4)	ねらい 設計 育苗期の徒長抑制による健苗育成 滴下処理 播種時覆土前 450000倍希釈 <0.2mL/鉢> 150000倍希釈 <0.2mL/鉢> 75000倍希釈 <0.2mL/鉢> 45000倍希釈 <0.2mL/鉢> 22500倍希釈 <0.2mL/鉢>	—	(作用性)
				ねらい 設計 むかご発生抑制、辛肥大促進 25ppm<100～200L>×5回 (散布間隔1週間) 25ppm<100～200L>×8回 (散布間隔1週間) 25ppm<100～200L>×5回 (散布間隔10日) 対) 無処理	継	継) ・ 効果、葉害の確認
3. ジベレリン 水溶 ジベレリン: 3.1%	ヤマノイ	適用性 新規 (自主)	青森 秋田 愛知 (3)	ねらい 設計 むかご発生抑制、辛肥大促進 25ppm<100～200L>×5回 (散布間隔1週間) 25ppm<100～200L>×8回 (散布間隔1週間) 25ppm<100～200L>×5回 (散布間隔10日) 対) 無処理	継	継) ・ 効果、葉害の確認

E. H23秋冬作分野菜関係 生育調節剤

注) アナライズは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
1. ジベレリン 水溶 ジベレリン: 3.1%	サインゲン	適用性 新規 (自主)	鹿児島<中間> 沖縄<中間> (2)	ねらい 設計 節間伸長促進効果、2回処理への拡大 茎頂部に散布 本薬0.5～1.5葉期→1回目3～5日後 5ppm<2mL/株> ×2回 本薬0.5～1.5葉期 5ppm<2mL/株> ×1回	保留	実) [促成、半促成栽培 (イサノマ (矮性品種)) ; 節 間伸長促進] ・ 本薬1枚展開前後 ・ 5ppm<2mL/株> ・ 茎頂部に散布

F. 花き関係 生育調節剤

注) アンダーラインは新たに判定された部分を示す

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
1. NGR-081 水溶液 [アザラシ] 0.01% [日本農薬]	カーネーション	適用性 継続	香川 (1)	ねらい 挿し芽浸漬処理、発根促進効果 設計 薬量 ＜水量＞ /10a ・挿し穂基部浸漬 定植前 10mL/1L 処理時間:1時間 50mL/1L 処理時間:1時間 ・挿し穂全体浸漬 定植前 1mL/1L 処理時間:1時間 5mL/1L 処理時間:1時間 対) オキベ D液剤 挿し穂全体浸漬 定植前 1000mL/1L 処理時間:5秒 挿し穂全体浸漬 定植前 5mL/1L 処理時間:24時間	実・継	実) [カーネーション:発根促進] ・定植前 ・挿し穂全体浸漬 1～5mL/水1L (0.1～0.5ppm) 1時間 ・定植前 ・挿し穂基部浸漬 10～50mL/水1L (1～5ppm) 1時間
	カーネーション	適用性 継続 (自主)	日本農薬㈱ (1)	ねらい 挿し芽浸漬処理、発根促進効果 設計 薬量 ＜水量＞ /10a ・挿し穂基部浸漬 定植前 10mL/1L 処理時間:1時間 50mL/1L 処理時間:1時間 ・挿し穂全体浸漬 定植前 1mL/1L 処理時間:1時間 5mL/1L 処理時間:1時間 対) オキベ D液剤 挿し穂全体浸漬 定植前 1000mL/1L 処理時間:5秒 挿し穂全体浸漬 定植前 5mL/1L 処理時間:24時間	継	継) ・基部浸漬処理での効果、葉害の確認 ・全体浸漬10秒処理での効果、葉害の確認
	ミニバラ	適用性 新規	広島 福岡 (2)	ねらい 挿し芽浸漬処理、発根促進効果 設計 薬量 ＜水量＞ /10a ・挿し穂基部浸漬 定植前 10mL/1L 処理時間:10分、1時間 50mL/1L 処理時間:10分、1時間 ・挿し穂全体浸漬 定植前 1mL/1L 処理時間:10分、1時間 5mL/1L 処理時間:10分、1時間 対) オキベ D液剤 挿し穂基部浸漬 定植前 慣行	継	継) ・効果、葉害の確認
2. ジベレリン 液 [ジベレリン] 0.5% [福島県農業総合セン ター]	リンドウ	適用性 新規 (自主)	福島<中間> (1)	ねらい 採花後株生育促進、欠株抑制効果 設計 薬量 ＜水量＞ /10a 株に散布 開花期 100ppm<10mL/株 (65L/10a)> 100ppm< 5mL/株 (32.5L/10a)> 200ppm<10mL/株 (65L/10a)>(倍量区) 対) 無処理	保留	(中間データ)
	アガオ	適用性 新規	広島 福岡 南九州大 (3)	ねらい 茎伸長抑制効果 設計 薬量 ＜水量＞ /10a 茎葉処理 摘心後1回 十分量<希釈せずそのまま散布> 摘心後2回 十分量<希釈せずそのまま散布> 摘心後3回 十分量<希釈せずそのまま散布>	継	継) ・効果、葉害の確認
	アザラシ	適用性 継続 (自主)	テリ・ホリティ園芸専 門学校(自主) <中間> 山形園試<中間> 福岡 果樹苗木 <中間> (3)	ねらい 茎伸長抑制効果 設計 薬量 ＜水量＞ /10a 茎葉処理 摘心後7～30日 十分量<希釈せずそのまま散布> 参) ビーエス水溶液 茎葉処理 摘心後7～30日 200倍 <50～150L>	保留	(中間データ)
3. ダミジッド スプレー [ダミジッド] 0.4% [日本曹達]	パンジー	適用性 新規	群馬 広島 福岡 (3)	ねらい 茎伸長抑制効果 設計 薬量 ＜水量＞ /10a 茎葉処理 鉢上げ後1回 十分量<希釈せずそのまま散布> 鉢上げ後2回 十分量<希釈せずそのまま散布> 鉢上げ後4回 十分量<希釈せずそのまま散布>	継	継) ・効果、葉害の確認

G. 平成22年度秋冬作分 花き関係 生育調節剤

注) アンダーラインは新たに判定された部分を示す

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種・類 新・維 の 別	試験担当場所 〈は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
1. イキむ 液 イキむ:10% [福島県農業総合セン タ]	イチゴ	適用性 新規 (自主)	福島 (1)	ねらい 設計 薬量 〈水量〉 /10a 落葉開花促進 茎葉処理 促成前 2000倍<L/株> 1000倍<L/株> 500倍<L/株> 300倍<L/株>	継	継) ・効果、葉香の確認

新装版

原色 図鑑 芽ばえとたね

—植物3態／芽ばえ・種子・成植物—

浅野貞夫／著

A4判 280頁

定価:9,000円+税

ISBN978-4-88137-115-2

芽ばえの細密図・種子のクローズアップ写真・成植物の生態写真、これら3態セットで植物の一生を表現。草本類480種、木本類160種を掲載した他に類のない植物図鑑。



全国農村教育協会

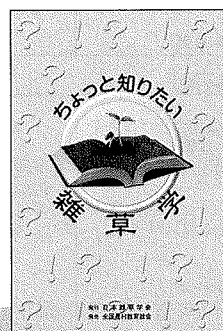
〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6
TEL.03-3839-9160 FAX.03-3833-1665<http://www.zennokyo.co.jp>

日本雑草学会創立50周年企画

ちょっと 知りたい 雑草学

沖 陽子・岩瀬 徹・露崎 浩・村岡 哲郎・高橋 宏和・田中 十城／著
日本雑草学会／編・発行 A5判 152ページ 定価1,995円

- ◆「雑草とは何か」についてわかりやすく解説。
- ◆除草剤の正しい知識を普及する格好の書。
- ◆それぞれ独自の見識とアプローチを持つ著者陣により、多彩な内容を展開。



本書の内容

- 第1章 雑草のくらし
- 第2章 雑草から学ぶ自然のしくみ
- 第3章 雑草をコントロールする
- 終章 座談・雑草との共存を目指して

発売

全国農村教育協会
<http://www.zennokyo.co.jp>

〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6(植調会館)
TEL.03-3839-9160 FAX.03-3833-1665